



# 藤沢東ロータリークラブ 週報

2016~2017 Rotary Club of Fujisawa East



- 会長/石田能治 幹事/林葉之 例会/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/藤沢市南藤沢 4-2 吉田ビル 5階 TEL: 0466-41-9191 FAX: 0466-41-9192
- 例会場/湘南クリスタルホテル藤沢市南藤沢 14-1 TEL0466-28-2111 FAX0466-28-2126

ROTARY SERVING HUMANITY

## 第 1937 回例会 2016 年 7 月 26 日 (火) (天候) 曇り No.4

点鐘 クリスタルホテル 3F 「フォンテーヌ」

開会

ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト・スピーカー・ビジター紹介

ゲスト

第 3 グループガバナー補佐 田島透様

ビジター (ふじさわ湘南 RC)

なし

バナー交換 なし

会食・懇談

-会長報告-

- ・本日は「田島 AG 公式訪問日」ということでようこそいらっしゃいました。よろしくお願い致します。
- ・7/27 (水) 建長寺にてイエール大学男声合唱団のコンサートがあります。皆様ご参加される方は宜しくお願ひします。
- ・7/30 (土) 遊行の盆に出ず第三グループの蓮を行います。先頭でプラカードを持ちますので、皆様当日藤沢来られる際はご覧下さい。何度もお案内致しますがよろしくお願い致します。

-表彰&特別挨拶- なし

-幹事報告-

- ・会費処理について…本来 7/27 引落としの手配が上手くできなくて、8/27 扱いになります
- ・地区からの連絡として、規定審議会代表議員指名委員会の研修がありました。メンバーは山路裕昭氏 (足柄 RC)、奥津光弘氏 (秦野中 RC)、後藤定毅氏 (大和中 RC) の 3 役員によります。
- ・ロータリー財団役員シンポジウムが 11/27 に東京の JP タワー 4F にて行われます。御興味ある方は幹事までご連絡下さい。

- ・米山奨学セミナーが 7/27 (水) 14:00~アイクロス 4F で行われます。米山委員長と奨学生カウンセラーの出席が必要となっています。

-委員会報告-

- ・出席報告 出席委員会
- ・スマイル報告 スマイル委員会
- ・鈴木和夫会員よりイエール大学男声合唱団の説明

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日 石田能治会長

「誕生日祝いありがとうございます。1940 年 (昭和 15 年) 生まれです。76 年前です。・今年 2 月から禁煙して 7 月末で半年になります。」



山口会長エレクトと石田会長

配偶者誕生日 なし

-卓話-

「RI ポリオ撲滅の歴史と 2780 地区の取組」  
第 3 グループガバナー補佐 田島透様

点鐘  
閉会

出席報告

例会月日	総員 (名)	出席 (名)	欠席 (名)	出席率 (%)	メークアップ (名)	修正出席率
7月12日	35 (30)	18	12	60.00.		60.00
7月26日	35 (32)	22	7	68.75		



### 【田島透第3グループAG】

8月9日にガバナーの公式訪問があります。その2週間前に補佐訪問となっています。8月9日はどうぞよろしくガバナーをお迎え下さい。お願いします。

### 【石田能治会長】

誕生日祝い、ありがとうございます。田島AG本日はようこそ。よろしくお願い致します。

### 【林葉之幹事】

田島AG、本日はようこそお越しいただき、ありがとうございます。卓話、楽しみにしています。

### 【本田昌子会員】

田島ガバナー補佐のご来場、楽しみにお待ちしております。一年間お世話になります。ご指導よろしくお願い申し上げます。

### 【鈴木利雄会員】

田島AG、本日はよろしくお願い致します。

### 【入澤初子会員】

田島ガバナー補佐 本日はよろしくお願い致します。

### 【鈴木和夫会員】

田島様、いらっしゃいませ。1年間ご苦労様です。明日のエール大学チャリティーコンサート、宜しくお願い致します。

### 【田中繁会員】

田島ガバナー補佐ようこそ。本日、御指導宜しくお願いします。

### 【山口俊明会員】

田島AG 本日は御指導の程、よろしくお願い致します。

### 【小柴智彦会員】

田島AG ようこそ。今年一年よろしくお願い申し上げます。

### 【吉田新一会員】

田島透ガバナー補佐本日は宜しくお願い致します。

### 【村木薫会員】

田島様、本日はよろしくお願い致します。

### -卓話-

### 第3グループガバナー補佐 田島透様



先週もまいりましたが、今年度第3グループガバナー補佐を担当しております、ふじさわ湘南ロータリークラブの田島でございます。どうぞよろしくお願い致します。

ガバナー補佐の公式訪問という仰々しい名前がついておりますが、2週間後にガバナーの公式訪問があります。その2週間前にガバナー補佐が皆様にガバナー公式訪問をアピールする、そういう趣旨でございます。

毎年ガバナーの公式訪問があり、内容的なものは皆さん良くご存じだと思います。まずはガバナーについて、また今年のR1会長について説明するようにいわれております。詳しくはガバナー月信の記載の通りです。ジョン.F.ジャームR1会長の生い立ちから考え、その次のページには佐野ガバナーの地区方針等がかいてあります。

ひとつだけ、ジョン.F.ジャームR1会長について紹介します。ある人との対談において、「R1は何を目指しますか？」との質問に対して「『ロータリーとは何のことか』という質問がこないようにしたい。」これは日本でも、米国でもそういう傾向があるようです。「それは、より効果的に、より接続的にロータリーの公共イメージを膨張させたい。そうすれば『ロータリーとは何ですか

？』という質問はなくなるんだ。みんなにロータリーを知って貰うことが大切だ」と述べていらっしやいました。そこで今年は、「人類に奉仕するロータリー」というテーマでRI会長はいろいろと計画をたてております。

そのRI方針の次に、地区の佐野ガバナーについてです。佐野ガバナーは秦野で明治元年創業の造り酒屋の5代目当主であります。今は息子さんが6代目として実質的な酒屋の経営をなされています。佐野ガバナーは5代目として取り組んだのは酒と音楽のハーモニーとして、麹菌にモーツァルトの名曲を聴かせる音楽醸造酒「モーツァルト」シリーズを発売し、国内外で好評を得ています。そこで、今年の佐野ガバナーの目標としては、今年がロータリー財団の100周年にあたるため、100周年を皆で祝おうではないか、という考えです。その背景にはロータリー財団と聞いて皆さんは「また寄付か」とお思いになるかと思えます。我々が寄付したものが100%また地区に戻ってきます。それが地区補助金、グローバル補助金として利用できる仕組みとなっております。等々もっとロータリー財団についてもっと理解をしようではないか、ということを考えています。

もうひとつ、新会員の集いを毎年箱根若しくは湯河原で行ってきました。それをグループに落とした形で行うということになりました。2回行うということで、第3グループでは9月29日と12月8日に行いたいと思えます。ぜひ、3年未満の会員の方は100%でて頂いて、親睦を深めながらロータリーの基本的なことを皆でお話をできれば良いなと思っております。

それからロータリーについてですが、大切なものは「親睦」であります。親睦」ともうひとつ「奉仕」の両輪にてロータリー活動は成り立っていると考えます。「奉仕」の考え方を皆で考える必要があります。「公共イメージの向上」と言っても、何か我々が地元に対して或いは世界に対して行っている「奉仕」というものを通じて皆さんに理解して頂くのが大切だと思っております。

今月の30日、31日に行われます「遊行の盆」があります。第3グループ合同イベントとして最初の企画でございますが、盆踊りを踊ることが目的ではなく、盆踊りを通じて我々がやっていることをアピールできるか、どういう風にしたらみんなにわかってもらえるか、あるいは、30日END POLIO NOWの募金活動を行っております。3年やっておりますが、募金活動自体が目的ではなく、目的は我々がPOLIO撲滅の活動をしていることを市民の皆さんに分かってもらう事だと思えます。

どうしたら良いのか、を考えたときに2780地

区として実際に撲滅の活動を行っていることをタペストリーにしてアピールして行きたいと思えます。

そこで、今日お配りした資料がありますので、それを説明したいと思います。

## ガバナー補佐説明資料

### 「RIポリオ撲滅の歴史と2780地区の取組」

2016-2017ガバナー補佐 田島透  
1978年3-Hプログラム「保健、飢餓追放および人間尊重補助金プログラム(Health, Hunger and Humanity Program)」→人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的向上発展をはかる

1979年フィリピンのザビノ・サントス パストガバナー(1970-71年度)が、RIにポリオ免疫接種事業を申し出る 同年9月 生後3か月から36か月の  
子供約600万人に対して、5年計画のポリオ免疫接種活動が始める。この活動が、RIが取り組んだ最初のポリオ撲滅活動となった。

1980年「予防接種を通じてポリオ撲滅を知る」ことにロータリーの目標

1981年財団が恒久基金を設立(元金は手を付けない、収益のみ活用)

1981年第258地区(現2580地区)の東京麹町ロータリークラブは「3-Hプログラム」の「インドはしか免疫プロジェクト」に参加。この時4時間ボランティアに参加した東京麹町ロータリークラブの山田彝(つね)氏はRI会長から個人特別表彰を受賞

この経験から山田彝(つね)氏は峰英二氏と一緒に早くからポリオの残状に深く関心を寄せ、1981年東京麹町ロータリークラブ(クラブ創立15周年記念事業)は1982-83年度南インドにポリオワクチンを送り、地元のロータリアンと協力して、子供たちをポリオから救うことを計画した。第258地区と第275地区(現2750地区)の世界社会奉仕(WCS)プロジェクトへと発展。

「ポリオ2005」:1982年2月のRI理事会で、「ロータリークラブおよび地区が、保健、飢餓追放および人間尊重プログラム、世界社会奉仕計画、社会奉仕活動を通じて、世界中の子どもたちに伝染病に対する免疫接種を、適切な国際的、全国的、あるいは各地の保健機関と協力のもとに継続させることを奨励し、西暦2005年に国際ロータリーの100年祭を迎えるまでに、全世界の児童をポリオから守る免疫接種を完了させることを目標とする」旨決議しました。これを受けて、1984-85年度、カルロス・カンセコRI会長(当時)は、この目

標達成の方法をはかるポリオ2005委員会を任命  
1984年11月：全世界規模でのRIのポリオ撲滅活動開始

1985年2月、ロータリー創始80周年に当って  
ポリオ・プラス計画を発表  
「プラス」とは、はしか、ジフテリア、破傷風、  
百日咳、結核の5つの病気

1988年、ポリオ予防接種活動でのロータリーの  
成果がきっかけとなり、世界保健総会がポリオ撲滅活動（GPEI）を創設

（GPEI：Global Polio Eradication Initiative）  
当初、GPEIはロータリー、世界保健機関（WHO）、  
米国疾病対策センター（CDC）、ユニセフで構成され、  
これらの団体が協力してポリオ撲滅活動に当っていました。  
その後、ビル&メリンダ・ゲイツ財団を含む他団体や  
各国政府が加わる。

1995年 全国予防接種日の支援を目的とした  
「ポリオプラスパートナー」プログラムを創設  
RIでは、1988-89年度までの3年間で2億  
4,700万ドルを集めました。これは目標額の2倍  
に相当。ロータリー財団では、WHOやUNICEF  
を綿密に連携し、集まったお金をもとに、世界各地  
でポリオワクチンの投与を実施しています。しかしながら、  
ポリオワクチンの投与はやさしいことではなかった。  
宗教や紛争などの要因により、思うようにならない  
場合も時々あった。ポリオワクチンを届けようとして、  
紛争に巻き込まれて亡くなった例もあった。

### 【日本のロータリー】

1994年に非ロータリー国である中国で、ポリオ  
ワクチン一斉投与 1995年、第2650地区（福  
井・滋賀・京都・奈良）はWCS（世界社会奉仕）  
活動の一環として、カンボジアでワクチン一斉投与

1996年モンゴル 1997年ネパール 1998年  
ラオス 1999年ベトナム 2000年中国/  
ミャンマー国境 2001年バヌアツ 2002年ミヤ  
ンマー 2003年カンボジア 2004年ラオス  
2005年パプアニューギニアなど、これらの中には、  
ローターアクターが参加した例もある。

### 【ポリオ撲滅宣言】

1994年 最初にポリオの撲滅が宣言 北・中・南  
米地域

2000年 西太平洋地域「ポリオ根絶宣言」→  
「京都宣言」として発表

2002年 ヨーロッパ地域での撲滅宣言

2002-2003年 100周年を記念して、シカゴ  
国際大会（2005/6月）で、ポリオ撲滅宣言を出す  
ために、国際ロータリーは、「約束を守ろう、ポ

リオをなくそう」を合言葉に、「ポリオ撲滅募金キ  
ャンペーン」（PEFC）を実施。

2005年6月 シカゴ国際大会で、「100%撲滅  
宣言」を出すことはできない状況になりました。  
人口の多いインドでは、さらなる資金援助が必要。  
アフガニスタン内戦の悪化。パキスタンでは政情  
不安。ナイジェリアでは、北部の州でワクチン投  
与が妨害された。一度のポリオの撲滅を宣言した  
近隣諸国にポリオウイルスが再び広がりを見せた。

2007年 ビル&メリンダ・ゲイツ財団が1億ド  
ルのチャレンジ補助金をロータリーに授与。

チャレンジ補助金とは、ロータリーが集めた1億  
ドルに対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が同額  
1億ドルの補助金を上乗せするもの。

2013年6月25日 リスボン世界大会-社会奉仕  
活動に携わる国際ロータリー（本部：エバンスト  
ン、会長：田中作次）とビル&メリンダ・ゲイツ  
財団はこの度、ポリオ（小児まひ）の撲滅活動を  
支援するパートナーシップの拡大を発表。この新  
たなパートナーシップは、今後5年間ロータリー  
がポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団  
が2倍の上乗せするというものです。（対象とな  
る寄付額は各年3,500万ドルまで）。このパート  
ナーシップを通じて、最高総額5億2,500万ド  
ル（525億円）の資金を確保できる可能性があり、  
達成間近にあるポリオ撲滅活動の大きな後押しと  
なることが期待されます。

（7-Aug-2013 ニュースリリース）

2016年 ポリオ発生 アフガニスタン 5人、パ  
キスタン 10人（2016/6月 AG会議）

### 【2780地区のポリオ撲滅活動】

2013年（相澤ガバナー年度）に「ポリオ撲滅行  
動グループ」を結成し、2014年（渡辺ガバナー）、  
2015年（田中ガバナー）3年間インドへ渡り、  
ポリオワクチン接種・ポリオ撲滅への行動を実行  
中。またポリオ患者のその後の実態（社会復帰へ  
の）」を視察し支援の必要性を実感。

2016年5月9日[ロンドン 5月9日ロイター]  
マイクロソフトのビル・ゲイツ会長と妻のメリン  
ダさんが創設した慈善基金ビル・メリンダ・ゲイ  
ツ財団は、武田薬品の低価格ポリオワクチンの開  
発を支援するため3800万ドルを提供する。ポリ  
オワクチンは、経口型生ポリオワクチン（OPV）  
による感染が問題化し、注射型の不活化ワクチン  
（IPV）への切り替えが進められているが、専門家  
はこうした動きが世界的に広がればIPVが不足す  
ると懸念している。武田薬品は、資金を途上国向  
けのIPV開発・供給に活用するとしている。